平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月9日

上場会社名　株式会社 ニチリョク　　上場取引所　東
コード番号　7578　URL　http://www.nichiryoku.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 寺村　久義
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員　(氏名) 矢田　欣也　TEL 03-3396-3052

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	909	26.5	85	―	57	―	19	―
25年3月期第1四半期	719	21.6	△86	―	△99	―	△69	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.57	―
25年3月期第1四半期	△5.45	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	10,707	3,655	34.1	292.46
25年3月期	10,424	3,728	35.8	298.29

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　3,655百万円　25年3月期　3,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	7.50	7.50
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,750	19.5	170	―	110	―	30	―	2.18
通期	3,800	△3.8	450	△8.3	320	△18.6	160	△26.6	11.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	13,741,014 株	25年3月期	13,741,014 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,242,584 株	25年3月期	1,242,086 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	12,498,928 株	25年3月期1Q	12,734,807 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想数値に関する事項につきましては、「添付資料」P.2「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の成長鈍化等のリスクが存在する中、米国経済の復調やデフレ脱却に向けた経済政策への期待感から円安・株高が進むと共に輸出関連企業を中心に収益が改善する等、景況感は良好に推移しました。しかしながら、足元の個人消費については、一部の嗜好品に持ち直し感はあるものの、消費者の節約志向は依然根強いものがあり、明確な改善までには至っておりません。

当社が属する供養産業におきましても、死亡者が年々増加しているにもかかわらず、霊園事業においては、購買意欲の減退に並行し霊園への来園顧客数は減少傾向にあります。この流れに対応すべく当社は、屋外墓地から供養の全てをパックした堂内陵墓事業へ比重の転換を図っており、当社売上及び利益に貢献しております。

一方、葬儀業界では、葬儀の小規模・地味化傾向が一層顕著となると共に価格競争が激化し顧客単価下落という厳しい環境にあるものの、家族葬を中心としたラステル葬が顧客からの支持を受け、葬儀売上に貢献した結果、当社の売上は前年同期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当第１四半期累計期間における業績は、売上高９億９百万円（前年同四半期比26.5%増）、営業利益８千５百万円（前年同四半期営業損失８千６百万円）、経常利益５千７百万円（前年同四半期経常損失９千９百万円）、四半期純利益１千９百万円（前年同四半期純損失６千９百万円）となりました。

各事業の状況

＜霊園事業＞

従来式の屋外墓地につきましては、比較的高価格となる墓地の買い控え及び小規模区画墓地傾向が続く環境下、一つのお墓に多数のお骨を収める共有墓の募集等を進めましたが、売上高は２億５千１百万円（前年同四半期比22.0%減）となりました。

＜堂内陵墓事業＞

堂内陵墓第四号「覚王山陵苑（名古屋市千種区）」は、当第１四半期で完売となりました。第五号「両国陵苑(東京都墨田区)」は、顧客の価値観を超える重厚な施設と立地が好感を呼んでおり、当初の計画通り順調な販売実績を上げております。売上高は３億３千万円（前年同四半期比130.9%増）となりました。

＜葬祭事業＞

葬儀の地味化傾向が一層顕著となり、施行単価は下落しております。当社は、従来の葬儀の流れである、葬儀社主導の施行形態を変革することを目的として、家族葬・直葬施設を併設した独自のブランド、ご遺体安置施設「ラステル(ラストホテル)」を運営しております。第一号「ラステル久保山(横浜市西区)」及び第二号「ラステル新横浜(横浜市港北区)」は、葬儀の小規模化を望む現代の顧客ニーズに合致しており、施行件数は順調に推移しております。当社独自のビジネスモデル「ラステル」は今後の葬儀部門の売上に貢献してくると確信しております。売上高は３億２千８百万円（前年同四半期比29.2%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期会計期間末における資産合計は、107億７百万円となり、前事業年度末に比べ２億８千３百万円増加いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、４億４千万円増加し、39億３千３百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金５億７千３百万円の増加、売掛金７千６百万円及び完成工事未収入金３千６百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、１億５千７百万円減少し、67億７千４百万円となりました。その主な要因は、長期未収入金１億５千３百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、５千８百万円増加し、33億４百万円となりました。その主な要因は、短期借入金８千１百万円、未成工事受入金４千８百万円及び１年内償還社債５千２百万円の増加、未払法人税１億２千８百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、２億９千７百万円増加し、37億４千８百万円となりました。その主な要因は、社債３億１千万円の増加、長期借入金３千３百万円の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、７千３百万円減少し、36億５千５百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金７千４百万円の減少によるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点は平成25年５月９日公表いたしました第２四半期累計期間及び通期の業績予想からの修正はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,963	2,885,901
完成工事未収入金	51,978	15,438
売掛金	186,254	109,927
永代使用権	491,652	462,888
未成工事支出金	285,291	296,021
原材料及び貯蔵品	64,650	78,034
その他	101,004	85,480
貸倒引当金	△13	△6
流動資産合計	3,492,781	3,933,684
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,171,671	1,135,894
土地	1,535,523	1,535,523
その他（純額）	33,743	31,432
有形固定資産合計	2,740,939	2,702,850
無形固定資産	47,949	61,414
投資その他の資産		
長期貸付金	183,604	181,524
霊園開発協力金	1,508,520	1,559,548
その他	2,486,518	2,303,692
貸倒引当金	△35,935	△35,020
投資その他の資産合計	4,142,708	4,009,745
固定資産合計	6,931,597	6,774,010
資産合計	10,424,378	10,707,694
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,249	46,428
短期借入金	424,408	506,208
1年内返済予定の長期借入金	1,640,655	1,663,295
1年内償還予定の社債	360,000	412,000
未払法人税等	132,277	4,009
賞与引当金	46,400	12,700
その他	573,675	659,763
流動負債合計	3,245,666	3,304,405
固定負債		
社債	440,000	750,000
長期借入金	2,614,390	2,581,204
退職給付引当金	240,112	241,316
役員退職慰労引当金	155,603	160,079
その他	300	15,412
固定負債合計	3,450,406	3,748,013
負債合計	6,696,072	7,052,418

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,699,858	1,625,739
自己株式	△227,425	△227,529
株主資本合計	3,737,357	3,663,134
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,719	5,097
繰延ヘッジ損益	△15,770	△12,956
評価・換算差額等合計	△9,051	△7,858
純資産合計	3,728,306	3,655,276
負債純資産合計	10,424,378	10,707,694

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	719,312	909,843
売上原価	249,003	252,194
売上総利益	470,309	657,648
販売費及び一般管理費	556,396	572,435
営業利益又は営業損失（△）	△86,087	85,213
営業外収益		
受取利息	2,019	1,052
受取配当金	5,644	7,444
その他	14,765	4,625
営業外収益合計	22,429	13,122
営業外費用		
支払利息	28,647	27,840
社債発行費	3,697	11,291
その他	3,416	2,145
営業外費用合計	35,760	41,277
経常利益又は経常損失（△）	△99,419	57,058
特別損失		
固定資産除却損	5,273	15,612
特別損失合計	5,273	15,612
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△104,692	41,445
法人税、住民税及び事業税	2,089	2,312
法人税等調整額	△37,401	19,510
法人税等合計	△35,311	21,822
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△69,380	19,622

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。